

2022年度（令和4年度）

# 履 修 要 項

千葉大学大学院人文公共学府  
（博士後期課程）

2022年度（令和4年度）人文公共学府学年暦（7週＋1メディア授業）

期	ターム	事項	日程	備考
前 期		春季休業期間	4月1日（金） ～10日（日）	・入学式：4月5日（火）
	第1ターム	授業期間	4月11日（月） ～6月2日（木）	・履修登録・修正期間：4月4日（月）～22日（金） ・金曜授業日：5月2日（月） ・補講週間：5月20日（金）～26日（木） ・予備日：6月4日（土） <b>【博士前期課程】</b> 修士論文提出資格確認・審査申請書（9月修了） 提出期限：5月2日（月） <b>【博士後期課程】</b> 学位論文計画書，論文提出資格確認願（3月修了） 提出期限：5月31日（火）
		授業準備期間	6月3日（金）～9日（木）	
	第2ターム	授業期間	6月10日（金） ～7月29日（金）	・履修登録・修正期間：6月3日（金）～23日（木） ・月曜授業日：7月8日（金） ・補講週間：7月11日（月）、19日（火）～22日（金） ・予備日：8月1日（月） <b>【博士前期課程】</b> 修士論文，修士論文要旨，修士論文利用承諾書（9月修了） 提出期限：6月30日（木）
	第3ターム	夏季休業期間 （集中講義等）	8月2日（火） ～9月30日（金）	・夏季休業期間 集中講義、サマープログラム等を実施 ・大学院修了式・学位記授与式：9月28日（水）
後 期	第4ターム	授業期間	10月3日（月） ～11月24日（木）	・入学式：10月3日（月） ・履修登録・修正期間：9月26日（月）～10月17日（月） ・金曜授業日：11月1日（火） ・大学祭：11月4日（金）～6日（日） ・創立記念日：11月5日（土） ・補講週間：11月9日（水）、11日（金）～15日（火）、17日（木） ・予備日：11月26日（土） <b>【博士後期課程】</b> 学位論文審査申請書類（3月修了） 提出期限：10月3日（月） <b>【博士後期課程】</b> 学位論文計画書，論文提出資格確認願（9月修了） 提出期限：10月31日（月） <b>【博士前期課程】</b> 修士論文提出資格確認・審査申請書（3月修了） 提出期限：10月31日（月）
		授業準備期間	11月25日（金）～12月1日（木）	
	第5ターム	授業期間	12月2日（金） ～1月31日（火）	・履修登録・修正期間：11月25日（金）～12月15日（木） ・水曜授業日：12月27日（火） ・冬季休業期間：12月28日（水）～1月4日（水） ・臨時休業日（大学入学共通テスト準備）：1月13日（金） ・補講週間：1月18日（水）～24日（火） ・予備日：2月1日（水） <b>【博士前期課程】</b> 修士論文，修士論文要旨，修士論文利用承諾書（3月修了） 提出期限：12月26日（月）
	第6ターム	臨時休業期間 （集中講義等）	2月2日（木） ～3月31日（金）	・臨時休業期間 集中講義、スプリングプログラム等を実施 ・大学院修了式・学位記授与式：3月24日（金） <b>【博士後期課程】</b> 学位論文審査申請書類（9月修了） 提出期限：2月28日（火）

2022年度（令和4年度）人文公共学府授業カレンダー（7週+1メディア授業）

		前 期						
		日	月	火	水	木	金	土
4月							1	2
		3	4	⑤	6	7	8	9
		10	11	12	13	14	15	16
		17	18	19	20	21	22	23
5月		24	25	26	27	28	29	30
		1	2(金)	3	4	5	6	7
		8	9	10	11	12	13	14
		15	16	17	18	19	20	21
6月		22	23	24	25	26	27	28
		29	30	31				
					1	2	3	4
		5	6	7	8	9	10	11
7月		12	13	14	15	16	17	18
		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30		
						1	2	
8月		3	4	5	6	7	8(月)	9
		10	11	12	13	14	15	16
		17	18	19	20	21	22	23
		24	25	26	27	28	29	30
9月		31						
			1	2	3	4	5	6
		7	8	9	10	11	12	13
		14	15	16	17	18	19	20
10月		21	22	23	24	25	26	27
		28	29	30	31			
						1	2	3
		4	5	6	7	8	9	10
11月		11	12	13	14	15	16	17
		18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29	30	31
		1	2	3	4	5	6	7
12月		8	9	10	11	12	13	14
		15	16	17	18	19	20	21
		22	23	24	25	26	27	28
		29	30	31				
1月					1	2	3	4
		5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
		19	20	21	22	23	24	25
2月		26	27	28				
					1	2	3	4
		5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
3月		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28				
					1	2	3	4
		5	6	7	8	9	10	11
4月		12	13	14	15	16	17	18
		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30	31	

		後 期						
		日	月	火	水	木	金	土
10月								1
		2	③	4	5	6	7	8
		9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
11月		23	24	25	26	27	28	29
		30	31					
				1(金)	2	3	4	5
		6	7	8	9	10	11	12
12月		13	14	15	16	17	18	19
		20	21	22	23	24	25	26
		27	28	29	30			
						1	2	3
1月		4	5	6	7	8	9	10
		11	12	13	14	15	16	17
		18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27(水)	28	29	30	31
2月		1	2	3	4	5	6	7
		8	9	10	11	12	13	14
		15	16	17	18	19	20	21
		22	23	24	25	26	27	28
3月		29	30	31				
					1	2	3	4
		5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
4月		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28				
					1	2	3	4
		5	6	7	8	9	10	11
5月		12	13	14	15	16	17	18
		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30	31	

T1		7	7	7	7	7	
T2		7	7	7	7	7	

※7週+1回のメディア授業により実施する

T3	集中講義、留学プログラム等
----	---------------

前 期	入学式：4月5日(火) 5月2日(月)は、金曜授業日 7月8日(金)は、月曜授業日 大学院修了式・学位記授与式：9月28日(水)
--------	---

T4		7	7	7	7	7	
T5		7	7	7	7	7	

※7週+1回のメディア授業により実施する

T6	集中講義、留学プログラム等
----	---------------

後 期	入学式：10月3日(※実施している研究科については、部局の判断において休講とし、振替日を設定出来る。) 11月1日(火)は、金曜授業日 大学祭：11月4日(金)～6日(日) 創立記念日：11月5日(土) 12月27日(火)は、水曜授業日 1月13日(金)は、大学入学共通テスト準備 大学院修了式・学位記授与式：3月24日(金)
--------	---

  補講週間(補講は6限目に実施。通常授業あり。)

  予備日        授業準備期間

自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の措置について

平成28年9月20日  
学部教育委員会申合せ  
平成28年9月20日  
大学院教育委員会申合せ

(最近改正 平成31年4月1日)

自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の取扱いについては、下記のとおりとする。

1. 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴い、各キャンパスの最寄駅を運行する全線の列車が運行停止となった場合。

- ①午前6時までに運行しない場合は、第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
- ②午前10時までに運行しない場合は、第3、第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
- ③正午までに運行しない場合は、第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。

2. 台風等により、気象庁から各キャンパスの所在地域に「特別警報（高潮及び波浪を除く）」、「暴風警報」又は「暴風雪警報」（以下「警報」という。）が発令された場合。

- ①午前6時までに警報が解除されない場合は、第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
- ②午前10時までに警報が解除されない場合は、第3、第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
- ③正午までに警報が解除されない場合は、第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。
- ④授業の開始後、警報が発令された場合は、当日のその後に開始する授業を臨時休講とする。

3. 各キャンパスの最寄駅を運行する全線の列車が運行停止とはなっていないが、台風の接近等により運行停止が見込まれる場合、又はその他の事由により通学及び帰宅が困難と判断される場合。

各部局の状況等を勘案し、教育担当理事がキャンパスごとに決定する。なお、台風等により、気象状況が時間の経過とともに悪化することが十分予測される場合は、前日までに休講の決定を行うことがある。

4. 部局の事情により、上記1～3の取扱いにより難い特別の事情がある場合。

当該部局長の判断により取扱いを決定することができる。なお、この場合は、当該措置後、速やかに教育担当理事にその状況を報告する。

5. 休講等の措置に係る学生及び教員等への周知方法。

千葉大学学生ポータル及びホームページ等を活用し、速やかな周知を図る。

6. 教育実習等の場合の取扱い。

教育実習、臨床実習、介護等体験実習及びインターンシップ等の場合は、各実習先の指示に従う。

7. 自然災害等による甚大な被害により、交通機関の復旧が長期にわたる場合。

その状況に即し、学長が適宜決定する。

※1及び3の最寄駅は、「西千葉地区…JR 西千葉駅及京成みどり台駅」、「亥鼻地区…JR 千葉駅及び京成千葉駅」、「松戸地区…JR 松戸駅及び新京成松戸駅」及び「柏の葉地区…つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅」とする。

# 目 次

2022年度（令和4年度）人文公共学府学年暦

2022年度（令和4年度）人文公共学府カレンダー

自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の措置について

1	はじめに	1
	(1) 概要	1
	(2) 人文公共学府の構成	2
	(3) 千葉大学「ENGINE」における「全員留学」への対応について	2
	(4) 大学院共通教育について	2
2	履修について	3
	(1) 「授業科目」の履修方法	3
	(2) 留学の必修化について	6
	(3) 学府における「研究指導」	6
3	学位の取得	7
4	修了までの年次別手順	9
5	事務手続き等について	10
6	授業科目、単位数および履修方法（別表1）	12
7	授業時間割表	15
8	授業内容および担当教員（授業コード・英文表記）	16
	(1) 共通基礎科目	16
	(2) 実践科目	16
	(3) 論文指導科目	16
	(4) 専門科目（人文科学コース）	17
	(5) 専門科目（公共学コース）	19
	(6) 専門科目（社会科学コース）	19
9	千葉大学大学院人文公共学府の課程博士学位に関する細則	20
10	書 式 集	34
11	人文公共学府（博士後期課程）教員名簿	64
12	千葉大学西千葉キャンパス案内図	66
	人文公共学府（博士後期課程）研究指導計画	巻末

# 1. はじめに

## (1) 概要

人文公共学府の教育プログラムは、「授業科目」と「研究指導」に分類されます。

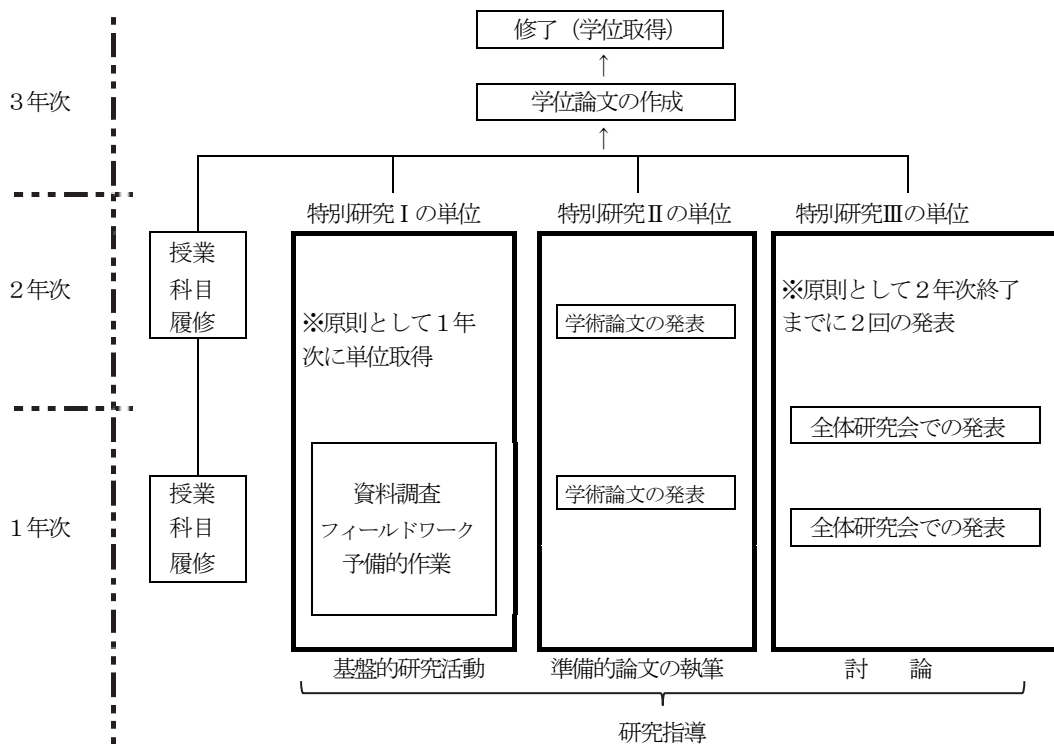
### 授業科目 (→2 (1) 参照)

- ① 授業科目は、「6. 授業科目, 単位数および履修方法」に掲載するとおりです。  
また、学府長の許可を受ければ、本学大学院の他の学府・研究科又は他の大学院の授業科目の履修も可能です。
- ② 授業では、演習形式の授業に重点がおかれます。

### 研究指導 (→2 (2) 参照)

- ① 研究指導は、学位論文の作成などに対する指導を内容とします。
- ② 研究指導は、主任指導教員1名及び副指導教員2名の教員がチームとなって行います。
- ③ 研究指導においては、学内外での学术论文の発表と口頭による研究発表を義務付けます。毎年、学府主催で公開の「全体研究会」を開催し、2年次終了までに2回の発表を義務とします。
- ④ 研究指導においては、共同研究を重視します。学生には、人文科学研究院・社会科学研究院等の研究センターで組織される研究プロジェクトへの参加を奨励します。リサーチ・アシスタント (RA: 博士後期課程の学生から選ばれる有給の研究補助員で、毎年公募の上審査決定する) 等として研究プロジェクトに参加して活動した実績は単位としても認定されます。また、学生が外国の研究機関等で研修することを奨励します。
- ⑤ 社会人学生には、教育方法の特例により、便宜をはかります。

### 教育プログラム構成図



## (2) 人文公共学府の構成

人文公共学府（博士後期課程）は、以下の1専攻、3コースからなります。

専攻	コース
人文公共学専攻	人文科学コース
	公共学コース
	社会科学コース

(1) 「人文科学コース」は、人文科学に関わる基盤的専門分野に対応した高度な専門的知識を提供する科目を配置し、各自が選択した専門性に基づいて選択必修科目を選択します。

専門分野や対象を限定し、深く掘り下げた博士論文テーマであると評価された場合に「博士（文学）」を授与します。人文科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に「博士（学術）」を授与します。

(2) 「公共学コース」では、政治学・政策学・国際関係論分野の「公共性」にかかる科目を中心に配置し、「福祉」「環境」「地域」といった学際的問題について、グローバルかつローカルな視点から学ぶことを可能とします。

「公共学コース」で授与する学位は「博士（公共学）」を基本とし、公共学及び社会科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に、「博士（学術）」を授与します。

(3) 「社会科学コース」では、法学・経済学分野の高度な専門的知識を提供する科目を配置し、社会のさまざまな課題の本質を理解し新たな解決策を理論的に導く人材を養成します。

「社会科学コース」で授与する学位は「博士（法学）」ないし「博士（経済学）」を基本とし、法学ないし経済学及び社会科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に、「博士（学術）」を授与します。

## (3) 千葉大学「ENGINE」における「全員留学」への対応について

千葉大学全学の方針により、在学中に1回以上留学することが、原則として修了要件となります。人文公共学府における留学の認定方法は、『2. 履修について（2）留学の必修化について』に掲載するとおりです。

## (4) 大学院共通教育について

千葉大学では総合大学である特色を生かし、令和元年度より大学院共通教育を導入しました。所属する研究科、学府に関わらず履修可能な大学院横断型の授業が多数用意されています。詳しくは、「千葉大学大学院共通教育科目授業案内」を参照し、関心に応じて履修してください。（千葉大学ホームページの「教育」のページにも掲載されています。）

## 2. 履修について

### (1) 「授業科目」の履修方法

#### 履修登録

1) 第1タームから第6タームの履修科目を①「履修計画表」(書式1)に記入し、主任指導教員の確認を得て、4月末日までに人社系学務課大学院学務室に提出するとともに、②学生ポータル(Web登録)にて履修登録期間中に学生本人が登録してください。なお、プロジェクト研究I・II、国際インターンシップA・B、海外/国内フィールドワーク、国際研究実践論A～C、特別研究I～IIIについては、担当教員に相談してください(学生ポータルでの履修登録は不要です)。

学生ポータル(web登録)にて履修登録がされていないと単位の修得ができません。履修登録・修正期間を過ぎた履修登録や取消は認められませんので、各自の責任において十分注意してください。

また、専門科目の授業は2ターム連続して受講する必要がありますが、履修登録期間は最初のタームになります。共通基礎科目、実践科目、論文指導科目は履修年次・タームが決まっていますので、ご注意ください。

<履修登録方法>

①「学生ポータル」<https://portal.gs.chiba-u.jp/>にアクセスする。

②「履修登録・WEB成績閲覧」メニューをクリックし、Google Workspace アカウント(学生証番号@student.gs.chiba-u.jp)でログインする。

③Campus Plan メインメニューに遷移した後、「Web履修申請」アイコンから履修登録を行う。

2) 4月の段階で登録していなかった第2ターム以降の科目について履修する場合には、各タームの履修登録期間中に学生ポータル(Web登録)にて学生本人が登録することで、追加登録することができます。追加登録等を行なった場合に、再度「履修計画表」を提出する必要はありません。

3) 各授業科目は、各タームの授業開始日からの1週間に1回目の授業が行われます。開講される場所は各担当教員の研究室(別の場所の場合は掲示されます)ですので、履修したい授業の授業開始時間に担当教員の研究室に行ってください。集中講義の日程等については掲示します。

4) 同一の科目を2回履修することはできません。

また、内部進学者の場合等で、本学府の博士前期課程で「国際インターンシップA,B」の単位認定がされている場合は、博士後期課程で同一名称の授業科目を履修することはできません。

5) 第3ターム及び第6タームの開講科目を修了予定学期に履修することはできません。(該当タームの開講科目については、時間的制約から、修了認定の時点までに単位認定が間に合わないおそれがあるため)

6) 同一の研究業績を用いて、複数の授業科目の単位認定申請をすることはできません。

7) 年次進行により科目編成が変更されることで、開講されなくなる科目が生じることがあります。このような科目は履修することができません。

8) 年次進行により科目編成が変更されることで、新規に開講される科目が生じることがあります。このような科目は、要件を満たすことにより履修することができます。



## 修了の要件

本学府を修了して博士の学位を取得するには、3年以上在学し、共通基礎科目1単位、実践科目4単位、論文指導科目5単位、専門科目4単位、自由選択科目2単位の計16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたいえ、学位論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。また、学府が開講する留学科目の単位を修得することも必要です。

なお、優れた研究業績をあげた者は、1年以上3年未満の在学で修了することもできます。

## 修了に必要な単位

- 1) 修了に必要な単位数は、16単位です。成績評価は、出席状況、レポート、期末試験等を総合して行います。その具体的な評価方法は科目ごとに異なっており、それらは、WEB上のシラバスに、科目ごとに掲載されています。当該科目における成績の評価には、5段階評価(下表)と「合格・不合格」とがあります。

評語	評点	評語の解説
秀	100～90点	学習目標を十分に達成したものと認められ、特に優れた成績である。
優	89～80点	学習目標を達成したものと認められ、優れた成績である。
良	79～70点	学習目標の根幹的な部分は達成したものと認められ、妥当な成績である。
可	69～60点	学習目標の最低限は達成できたと認められる成績である。
不可	59～0点	学習目標の最低限が達成できていないと認められる成績である。

**成績評価基準** (対象：履修登録者20名以上の講義科目。演習・実習科目は対象外とする。)

- ① 原則として、履修登録者に占める「優」の割合は40%以内とし、「秀」の割合は20%以内とする。  
② 該当する科目の担当教員は成績認定済みの授業科目の成績分布を、学生ポータルを通じて公示する。

成績評価に疑義がある場合は、「成績評価に関する異議申立書」を成績公表後15日以内(修了時を除く)に人社系学務課大学院学務室に提出することにより異議申し立てができます。

## 合格・不合格で評価される科目

国際インターンシップA・B、海外/国内フィールドワーク、国際研究実践論A～C、特別研究I～III、留学代替特別演習

- 2) 必要単位の区分は、以下のとおりです。

区分	科目	履修年次	単位	小計	合計
共通基礎科目	人文公共学リサーチ方法 基礎論	1	1単位	1単位	16単位
実践科目	授業(演習・実習)科目	1・2, 1・2・3	4単位	4単位	
論文指導科目	特別研究I	1	1単位	5単位	
	特別研究II	1・2	2単位		
	特別研究III	2	2単位		
専門科目	授業(演習)科目	1・2・3	4単位	4単位	
自由選択科目	授業(演習)科目	1・2・3	2単位	2単位	

(1)「共通基礎科目」 1 単位 (必修)

1 年次に「共通基礎科目」として公共学的視点と高い研究倫理性を身に付ける「人文公共学リサーチ方法基礎論」を履修します。必修科目ですので1年次に必ず履修してください。

(2)「実践科目」 4 単位 (選択必修)

「実践科目」では、「公共学的視点」に基づく実践的研究活動を行うための協働力、企画力、運営力や国際的発信力を身に付けます。具体的には、「プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」「国際インターンシップA・B」「国際研究実践論A～C」「海外／国内フィールドワーク」「人文公共学特別演習」の履修がこれにあたります。

(3)「論文指導科目」 5 単位 (必修)

入学後、主任指導教員 1 名、副指導教員 2 名により「論文指導科目」を担当する体制が決定されます。「論文指導科目」である「特別研究Ⅰ～Ⅲ」の単位を取得することにより学位論文提出資格が与えられます。

① 「特別研究Ⅰ」1 単位は、指導教員の指導のもとで、学生が研究計画を策定し、「年次研究計画書」として指導教員に申請し、承認を受けた1年次の研究活動の遂行とその報告によって与えられる単位です。例としては、国内諸機関の訪問、海外留学などによる資料収集活動、海外現地での教員や学生との交流、また学問分野によっては、実験やフィールドワーク、博士論文作成と有機的に関連づけられた予備的作業・社会的活動などが含まれます。また、本学府と提携関係にある大学院において研究指導の一部を受ける、あるいは授業単位を取得することなども推奨されます。この「特別研究Ⅰ」は、博士論文執筆に向けて行われる基盤的研究活動に対して与えられる単位ですから、原則として1年次に単位を取得してください。

② 「特別研究Ⅱ」2 単位は、指導教員の指導のもとで、博士論文の中間段階として、審査付き学術雑誌に1篇、ないしは審査のない学術雑誌（本学府の紀要を含む。ただし、プロジェクト研究報告書は除く。）に2篇の学術論文を掲載した場合に与えられる単位です。いずれの論文も博士論文作成過程との有機的連関が求められます。また、いずれの場合にも、論文は初出のものとし、指導教員の査読を経なければなりません。原則として、2年次までに単位を取得してください。

③ 「特別研究Ⅲ」2 単位は、指導教員の指導のもとで、各年度に2回（第3ターム、第6ターム）行われる学府主催の全体研究会において、執筆予定の博士論文に即したテーマで、2回研究報告を行った場合に与えられる単位です。全体研究会における研究報告は、博士論文執筆の準備となるべきものですから、原則として2年次終了までに研究報告を行い、単位を取得していなければなりません。なお、上記「特別研究Ⅰ」に関連する研究活動のために、学生が6ヶ月以上、長期に海外研修を行う場合には、6ヶ月ごとに4000字以上（様式は任意）の研修報告を指導教員に提出し、承認を受けることによって、全体研究会での1回の発表と換算することができます。ただし、休学して海外研修を行う場合などには、上記措置は適用されません。

(4)「専門科目」 4 単位 (選択必修)

「専門科目」は、所属するコースで開講されている授業科目です。詳しくは別表1を参照してください。

(5)「自由選択科目」 2 単位 (選択必修)

「自由選択科目」は、人文公共学府または千葉大学大学院の他研究科で開講されている科目から能動的かつ自由に選択することができます。専門科目を自由選択科目にする場合には、単位取得後に科目区分変更手続きを行なう必要があります。

他の大学院又は千葉大学大学院の他の学府・研究科の授業科目の単位を履修したときは、8単位までを限度として、本学府の単位とみなされることがあります。

## (2) 留学の必修化について

### 留学の認定について

本学府を修了するためには、在学中に1回以上留学することが必須となります。学府開講科目の中では、次に掲載する科目（以下、学府開講留学科目と呼ぶ。）のいずれかの単位を修得することで、留学が認定されます。

「国際インターンシップA」, 「国際インターンシップB」, 「海外フィールドワーク」, 「国際研究実践論A」, 「国際研究実践論B」

なお、学府開講留学科目以外でも、大学院共通教育の留学プログラムに参加し、当該科目の単位を修得することで、留学が認定されます。

留学できない事情がある場合には、留学を代替する措置があります。本学府においては、留学代替措置の一つとして、科目「留学代替特別演習」の単位を修得することで、留学に替えることができます。

外国人留学生については、留学を希望しない場合には申請することで修了要件から免除されます。

留学代替措置や留学免除に関する申請手続等については、人社系学務課大学院学務室窓口において確認してください。

## (3) 学府における「研究指導」

学生の「研究活動」という観点から見ると、本学府における教育は次のような制度になっています。

1) 入学願書の記載と選抜試験によって、入学後に主任指導教員（1名）が確定されます。主任指導教員と副指導教員（2名）でチーム（以下「指導教員チーム」といいます。）を構成し、学生の研究の進捗状況を常に把握し、研究の方法、内容等について適切な助言を与えます。

2) 学生は、指導教員チームの助言を得ながら、1年次の研究スケジュールを記載した「年次研究計画書」（本『要項』巻末の書式集参照）を作成して、入学年度の5月末までに提出します。また、毎年5月末までに指導教員と「研究指導計画書」を作成します。

「特別研究Ⅰ」の単位は、原則として1年次の「年次研究計画書」において申請した1年次の研究計画の実施に対して与えられる単位ですから、その点に留意した上で計画を策定してください。（前述(3)「論文指導科目」①「特別研究Ⅰ」参照）**1年次末には、博士論文作成に向けた基盤的研究活動の成果の概要を、「特別研究Ⅰ単位認定申請書」にまとめて主任指導教員に提出します。**

3) 学生は、年2回（第3ターム、第6ターム）、原則として教員・学生の全員が参加して開催される「全体研究会」において、2年次終了までに、博士論文の課題に関連したテーマで少なくとも2回の研究発表を行います。**全体研究会で報告を行った場合には、その都度「特別研究Ⅲ単位認定申請書」に記載し、2回目の研究報告が終了してから、主任指導教員に提出してください。**（前述(3)「論文指導科目」③「特別研究Ⅲ」参照）

4) 学生は、学位論文を作成する前に、「学術論文」1篇ないし2篇を、学術雑誌等に発表します。これは、学位論文の作成準備の課程で、前提として解決しておくべき論点、関連ある論点又は学位論文のテーマの一部について論文を発表しておき、最終的にこれらを学位論文の中に織り込む、というプロセスを想定したものです。

必要な論文の点数は、審査のあるもの（審査を経て掲載が許される学会誌などに掲載されたもの）の場合は1篇、そうでない場合は2篇です。本学府の紀要（『人文公共学研究論集』）に発表された論文は、「審査のない学術論文」として数えられます。（前述(3)「論文指導科目」②「特別研究Ⅱ」参照）

**ただし、プロジェクト研究報告書を「特別研究Ⅱ」の学術論文として使用することはできません。**

なお、他の著者と共同して論文を執筆したときは、学生がその論文について半分を超える寄与をしている必要があります。寄与の割合については、論文の筆頭執筆者の説明を求めることがあります。

**査読付の論文1篇ないし、査読なしの論文2篇を発表した場合には、「特別研究Ⅱ単位認定申請書（掲載された学術雑誌等の該当部分（抜刷可）及び表紙のコピーを3部添付）」を主任指導教員に提出してください。**

### 3. 学位の取得

#### (1) 学位取得への道すじ

##### 1) 学位論文構想の提出

2年次始め（標準在学年限の場合。以下同じ。）に、指導教員チームの承認を得て「学位論文構想」を提出します。これは、学位論文の章・節などの構成の概要と、研究スケジュールの概略等を記載したものです。

##### 2) 学位論文予備審査（学位論文計画書の提出）

学位論文提出の前に、「学位論文計画書」を指導教員チームに提出し予備審査を受けます（提出時期については、「修了までの年次別手順」で指示）。「学位論文計画書」は、学位論文の章・節などの構成の詳細とそれぞれの内容の概要を記載したものです。論文提出資格を満たし、予備審査で論文計画が承認されれば、学位論文を提出することができます。

##### 3) 論文提出資格の確認

学位論文を提出するためには、原則として2年次の終わりまでに、共通基礎科目1単位、実践科目4単位、専門科目4単位、自由選択科目2単位、論文指導科目（特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）5単位を修得していなければなりません。その資格確認は、学位論文提出の4か月前までに行われます。

##### 4) 学位論文審査（本審査）の申請

予備審査合格者は、学位論文審査の申請書類を、主任指導教員の承認を得た後、人社系学務課大学院学務室に提出します。

**提出日が休業日の場合は、その次の平日が期限となります。**

提出書類	部数	提出期限
学位論文審査願	1部	3月修了： 10月1日 17時00分（厳守）
履歴書	1部	
出身学校（最終学校）の卒業（修了）証明書（原本）	1部	
学位論文	5部	9月修了： 2月末日 17時00分（厳守）
論文内容の要旨 ※電子データ（wordファイル）も併せて提出すること	5部	
研究業績目録	5部	
研究業績論文	1部	

#### 学位論文及び「論文内容の要旨」の作成要領

- ① 論文の長さは、和文の場合、概ね400字詰め原稿用紙300枚を基準とし、欧文の場合は、これに準じます。ただし、論文の長さは、専門領域により変更が可能です。
- ② 論文には、調査資料、史料、文献目録、図版等を付けることができ、その分量は特に限定しません。
- ③ 学位論文は、後掲「学位論文製本要領」の図版に従い、A4版で製本したものを5部提出してください。

- ④ 学位論文の提出に際しては、論文の要旨5部を添えてください。
- ⑤ 論文の要旨は、和文の場合は400字詰め原稿用紙10枚程度とし、欧文の場合は、これに準じます。ただし、論文要旨の長さは、専門領域により変更が可能です。
- ⑥ 論文の要旨を提出するときは、電子データ（wordファイル）も併せて提出してください。電子データはメールに添付して人社系学務課大学院学務室（gah2352@office.chiba-u.jp）あてに送付してください。

## 5) 学位論文審査

学位論文提出者ごとに設置された論文審査委員会において論文が学位に値するか否かを審査します。また、学位に付記する専門分野の名称を判定します。論文審査委員会は論文審査及び面接諮問による最終試験を行います。論文審査委員会の主査は審査結果報告書を学府長に提出します（3月修了は12月、9月修了は6月）。

## 6) 教授会の修了判定

3月修了の場合には1月、9月修了の場合には7月の教授会で判定します。

## 7) 修了者に対する学位授与

学位の授与は3月と9月に行ないます。

## (2) 学位論文の審査基準

学位論文は、次のような基準により、審査されます。

- ① 学位論文が、先行する研究成果を正しく踏まえたうえで、十分な資料やデータを駆使し、「厳密な論理」と「独創性」によって導かれ、当該研究分野に対し、「新規性」のある知見を付与するものであること。
- ② 学位論文提出者が、研究における十分な「倫理性」を有し、自立的した研究者として活躍しうる高度で公共的な研究能力を発揮し得ることが認められる論文であること。
- ③ 学位論文提出者が、高度で公共的な専門的業務を遂行するに必要な能力と学識、倫理観を有すると認められる論文であること。

## (3) 学位

各コースにおいて授与される学位及び付記する専門分野の名称は、次のように定められています。

人文科学コース 博士（文学）、博士（学術）

公共学コース 博士（公共学）、博士（学術）

社会科学コース 博士（法学）、博士（経済学）、博士（学術）

## (4) 学位論文の公表

学位取得者は、学位論文を原則としてインターネットにより公表するものとします。

なお、インターネット公表に当たり、学位論文を掲載したCD及びインターネット公表確認書を学位取得後の別途指定する日までに提出するものとする。

## (5) 保存のための学位論文の提出

学位申請者は、教授会の行う学位授与の判定が終了し、学位授与が決定した場合は、保存のための学位論文を別途指定する日までに、1部提出するものとします。

## (6) 早期修了制度による学位論文の提出

優れた研究業績をあげた学生は、修了に必要な単位を取得した場合、指導教員チームの助言に基づき、1年以上3年未満の在学により、学位論文を提出して、修了することができます。

早期修了の審査手続き（在学期間特例申請の審査）については、別に定めるところによりますので指導教員及び人社系学務課大学院学務室にご相談ください。

## 4. 修了までの年次別手順

入学から修了までに必要な諸手続きを自己管理できるように、手続きの一覧表を作りました。書式の欄には、手続きに必要な書式が本冊子末尾の書式集に載っている場合に、その番号を掲げました。なお、学位論文審査申請書類の提出については、本冊子に掲載されている「千葉大学大学院人文公共学府の課程博士学位に関する細則」に附された「別紙様式1～4」，「製本要領」を参照してください。

### (1) 標準修学の場合

年次別	学期別	事 項	提出時期等	本 人 確認欄	参照箇所	書式
1年次	前 期	①指導教員チームの決定	入学時		2(1)(2)	
		②年次研究計画書の提出	5月末日まで		2(1)(2)	書式2
		③研究指導計画書の提出	5月末日まで		2(3)	書式9
	④共通基礎科目(必修)1単位の履修	第①ターム		2(1)		
	随 時	⑤特別研究I単位認定申請書の提出	1年次末まで		2(1)(2)	書式3
2年次	前 期	⑥学位論文構想の提出	5月末日まで		3(1)	書式9
		⑦研究指導計画書の提出	5月末日まで		2(3)	書式9
		⑧第1回全体研究会	9月中～下旬		2(1)(2)	書式6
	後 期	⑨第2回全体研究会	3月上～中旬		2(1)(2)	書式6
1～2年次 の間		⑩履修計画表(Web登録も必要)	4月末日まで		2(1)	書式1
		⑪特別研究I, II, IIIの単位認定	2年次末まで		2(1)(2)	書式3, 5, 6
		⑫実践科目, 専門科目, 自由選択科目の履修	〃		2(1)	
3年次	前 期	⑬学位論文計画書の提出(予備審査)	5月末日まで		3(1)	書式7
		⑭論文提出資格確認願の提出	5月末日まで		3(1)	書式8
		⑮研究指導計画書の提出	5月末日まで		2(3)	書式9
		⑯学位論文審査申請書類の提出 (本審査)	10月1日まで		3(1)	別紙様式1～4 細則参照
		⑰最終試験(口頭試問)	12月末頃まで		3(1)	
	後 期	⑱保存のための学位論文の提出	3月下旬		3(5)	製本要領参照

### (2) 翌年9月修了の場合

年次別	学期別	事 項	提出時期等	本 人 確認欄	参照箇所	書式
3年次	後 期	⑯学位論文計画書の提出(予備審査)	10月末日まで		3(1)	書式7
		⑰論文提出資格確認願の提出	10月末日まで		3(1)	書式8
		⑱学位論文審査申請書類の提出 (本審査)	2月末日まで		3(1)	別紙様式1～4 細則参照
	翌 年	⑲最終試験(口頭試問)	6月末頃まで		3(1)	
		⑳保存のための学位論文の提出	9月下旬		3(5)	製本要領参照



## 5. 事務手続き等について

### 1) 授業・履修・学生生活等に関わる通知

- ①「学生ポータル」(https://portal.gs.chiba-u.jp/)では履修登録のほか、シラバス、休講情報、成績、大学からの通知等を確認することができます。大学から交付される Google Workspace アカウント(学生証番号@student.gs.office.chiba-u.jp)でログインして利用してください。
- ②千葉大学から交付されるメールアドレスに対して、大学からの重要なお知らせが配信されることがありますので、確認を怠らないようにしてください。
- ③人文公共学府の屋内掲示板(文学部棟1階入り口左手)には、学生ポータルに掲示していない情報もありますので確認するようにしてください。

### 2) 各種手続き

◎印は、人社系学務課大学院学務室窓口で行う手続き

種別	概要
証明書関係	各種証明書の発行 「証明書発行サービス」を利用して、必要な証明書の申請を事前に実施いただき、学生支援課(学生支援プラザ内)に設置された発行機から、在学中は各種証明書を発行することができます。【無料/平日8:30~17:00のみ】 また、同サービスでは、対応するコンビニエンスストアのマルチコピー機から、各種証明書を発行・取得することも可能です。【有料】 ※成績証明書は1年次第4ターム以降、修了見込証明書は3年次進級後に、発行・取得が可能になります。 ◎証明書発行サービスに対応していない証明書(指定書式の証明書など)が必要な場合には、証明書交付願により窓口で申し込んでください。(発行まで所定の日数がかかるため、即日の発行には応じられません。余裕を持って早めに申し込んでください。)
身分関係	休学願 ◎身分異動(休学、休学延長、復学、留学、退学)については、 <b>全て事前に指導教員から承諾(承認印)を得る必要があります。</b> ◎疾病その他の事由により2ヶ月以上修学することができない場合、休学事由を付して休学を願い出てください。(疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。)提出の期限は、 <b>原則として前期からの場合は2月末、後期からの場合は8月末まで</b> とします。休学の期間は通算して3年を超えることができません。休学期間の終了前に身分異動手続き(復学手続き等)がなかった場合には除籍になります。
	復学願 ◎休学期間満了の場合、または休学期間であっても休学事由が消滅した場合には、 <b>原則として前期からの場合は2月末、後期からの場合は8月末までに</b> 、復学願を提出してください。(疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。)
	退学願 ◎ <b>退学しようとする日から起算して1ヶ月前までに</b> 手続きを行ってください。なお、退学する学期の授業料を完納しなければなりません。
	住所・本籍変更、改姓、保証人変更届 ◎本人や保証人の現住所、連絡先が変更になった場合は、学籍簿変更届を提出してください。また、学生ポータルに入力してください。 ◎本籍及び国籍の変更、改姓が生じた場合は、学籍簿変更届に公的証明書を添付して提出してください。
その他	学生証の再発行 ◎紛失や盗難、在籍期間延長のために再発行が必要な場合は、学生証再発行申請書により再交付を申請してください。 再発行には、40×30mmのカラー写真および再発行用カード(350円、生協ブックセンター販売)の購入が必要になります。
	各種奨学金制度 日本学生支援機構奨学金、その他各種奨学金の詳細については、学務部学生支援課(043-290-2178, 2169)へ問い合わせてください。 ※奨学金受給者で、休学等の身分異動や、氏名・現住所等の変更が生じた場合には、学務部学生支援課で手続きが必要になります。

### 3) 指導教員の変更について

指導教員を変更する場合には、速やかに「指導教員変更届」を人社系学務課大学院学務室に提出すること。  
なお、「指導教員変更届」には、旧指導教員及び新指導教員の承認印が必要です。主任指導教員は所属するコースを担当する専任教員でなければなりません。各教員が担当するコースは、巻末の教員名簿で確認してください。

#### 4) コースの変更について

過剰な科目履修を伴わないコース変更（指導教員の変更）は2年次進学時まで可能な場合があります。コース変更を希望する場合には、**1年次の7月末日又は1月末日までに**「コース変更申請書」を希望するコースの指導希望教員に提出してください。コースの指導予定教員は、審査結果等を「コース変更申請書」に追加記入し、学府長あてに提出します。学府長は申請学生に変更の可否について通知します。なお、新たなコースの履修は、1年次第4タームまたは2年次第1タームからとなります。

#### 5) 海外渡航

私事渡航を含めて海外に渡航（一時帰国）する場合には、必ず「海外渡航届」を人社系学務課大学院学務室に提出してください。これは、海外で災害・テロ・感染症発生等の緊急事態が発生した際、当該地域へ渡航中の学生の安否確認を迅速に行なうためのものです。「海外渡航届」は人文公共学府ホームページ又は学生ポータルよりダウンロードできます。なお、手書きの場合には、メールアドレス等が読み取れない場合がありますので、パソコンで入力したものを印刷して提出してください。

また、渡航する前には外務省・海外安全ホームページ (<http://www.anzen.mofa.go.jp/>) にて渡航先の国・地域の最新の海外安全情報を必ず確認するとともに、日本人学生は外務省が実施している渡航登録サービス（「たびレジ」又は「在留届」）に登録してください。

#### 6) 長期履修学生制度

職業を有している等の事情で、通常の学生よりも1年間または1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、大学院博士後期課程の標準修業年限である3年間を超えた在学をしなければ課程を修了することができないと考える者は、長期履修学生の申請をし、その審査を受けることができます。詳細については、人社系学務課大学院学務室にお問い合わせください。

#### 7) 教育方法の特例について

本学府では、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間に、授業または研究指導を行い、単位の修得を認めることがあります。

#### 8) 研究倫理審査について

研究活動において調査等を実施する際、調査等の実施内容について研究倫理審査の必要がある場合は、主任指導教員が所属する部局の研究倫理審査委員会（担当：各部局総務係）で審査します。研究倫理審査の要否については、主任指導教員に相談してください。



## 6. 授業科目，単位数および履修方法（別表1）

### （1）共通基礎科目

授 業 科 目	開 設 単 位			履修年次	必修・選択 の別	履 修 方 法
	講義	演習	実習			
人文公共学リサーチ方法基礎論	1			1	必修	必修科目として履修する。

### （2）実践科目

授 業 科 目	開 設 単 位			履修年次	必修・選択 の別	履 修 方 法
	講義	演習	実習			
プロジェクト研究 I			2	1・2・3	選択	4単位以上の履修を必要とする。
プロジェクト研究 II			2	1・2・3	選択	
国際インターンシップ A ※			2	1・2	選択	
国際インターンシップ B ※			2	1・2	選択	
海外フィールドワーク			2	1・2	選択	
国内フィールドワーク			2	1・2	選択	
国際研究実践論 A			2	1・2・3	選択	
国際研究実践論 B			2	1・2・3	選択	
国際研究実践論 C			2	1・2・3	選択	
人文公共学特別演習		1		1・2・3	選択	
留学代替特別演習		2		1・2・3	選択	

（注）博士前期課程で同一名称の科目（※）を履修し，単位認定されている場合には，同科目の履修はできません。

### （3）論文指導科目

授 業 科 目	開 設 単 位			履修年次	必修・選択 の別	履 修 方 法
	講義	演習	実習			
特別研究 I		1		1	必修	必修科目として5単位の履修を必要とする。
特別研究 II			2	1・2	必修	
特別研究 III			2	2	必修	

## (4) 専門科目

授 業 科 目	開 設 単 位			履修年次	必修・選択 の別	履 修 方 法	
	講義	演習	実習				
人 文 科 学 コ ー ス	東洋哲学		2		1・2・3	選択	所属するコースで開講されている 授業科目を4単位以上履修する。
	現代哲学		2		1・2・3	選択	
	分析哲学		2		1・2・3	選択	
	倫理学		2		1・2・3	選択	
	社会的行為論		2		1・2・3	選択	
	経験社会学		2		1・2・3	選択	
	家族変動論		2		1・2・3	選択	
	福祉社会論		2		1・2・3	選択	
	地域変動論		2		1・2・3	選択	
	越境の社会学		2		1・2・3	選択	
	環境人類学		2		1・2・3	選択	
	医療人類学		2		1・2・3	選択	
	言語人類学		2		1・2・3	選択	
	ヨーロッパ古典文学		2		1・2・3	選択	
	東アジア比較社会論		2		1・2・3	選択	
	東アジア歴史社会論		2		1・2・3	選択	
	東南アジア歴史社会論		2		1・2・3	選択	
	イスラーム歴史社会論		2		1・2・3	選択	
	日本歴史社会論		2		1・2・3	選択	
	ヨーロッパ近現代社会論		2		1・2・3	選択	
	ヨーロッパ近世社会論		2		1・2・3	選択	
	ジェンダー表象論		2		1・2・3	選択	
	考古学		2		1・2・3	選択	
	ユーラシア言語論		2		1・2・3	選択	
	ユーラシア文化論		2		1・2・3	選択	
	ユーラシア民族論		2		1・2・3	選択	
	日本芸能文化論		2		1・2・3	選択	
	移民と教育の現代社会論		2		1・2・3	選択	
	日本文学資料論		2		1・2・3	選択	
	日本文学表現論		2		1・2・3	選択	
	日本文学享受論		2		1・2・3	選択	
	日本語史		2		1・2・3	選択	
	日本語学		2		1・2・3	選択	
	多文化相互行為論		2		1・2・3	選択	
	言語行動分析論		2		1・2・3	選択	
	理論言語学		2		1・2・3	選択	
	日本語教育論		2		1・2・3	選択	
	英語圏文化論		2		1・2・3	選択	
	比較文化論		2		1・2・3	選択	
	ヨーロッパ言語文化論		2		1・2・3	選択	
宗教文明論		2		1・2・3	選択		

授 業 科 目		開 設 単 位			履修年次	必修・選択 の別	履 修 方 法
		講義	演習	実習			
公 共 学 コ ー ス	政治思想史		2		1・2・3	選択	所属するコースで開講されている 授業科目を4単位以上履修する。
	日本政治史		2		1・2・3	選択	
	公共哲学		2		1・2・3	選択	
	公共文化論		2		1・2・3	選択	
	国際経済論		2		1・2・3	選択	
	公共政治論		2		1・2・3	選択	
	公共政策論		2		1・2・3	選択	
	環境経済論		2		1・2・3	選択	
	国際政治論		2		1・2・3	選択	
	国際関係論		2		1・2・3	選択	
	グローバル関係論		2		1・2・3	選択	
	雇用政策論		2		1・2・3	選択	
	移民研究		2		1・2・3	選択	
	メディアリテラシー論		2		1・2・3	選択	
	市民社会論		2		1・2・3	選択	
司法福祉論		2		1・2・3	選択		
国際協力論		2		1・2・3	選択		
社会思想史		2		1・2・3	選択		
国際政策論		2		1・2・3	選択		
社 会 科 学 コ ー ス	ミクロ経済学		2		1・2・3	選択	所属するコースで開講されている 授業科目を4単位以上履修する。
	マクロ経済学		2		1・2・3	選択	
	計量経済学		2		1・2・3	選択	
	開発経済学		2		1・2・3	選択	
	近代日本社会経済史		2		1・2・3	選択	
	選択行動分析		2		1・2・3	選択	
	紛争解決法展開演習		2		1・2・3	選択	
	応用外国法演習		2		1・2・3	選択	
	行政法		2		1・2・3	選択	
	労働法		2		1・2・3	選択	
	公共政策と法		2		1・2・3	選択	
	法哲学		2		1・2・3	選択	
民法		2		1・2・3	選択		
修了要件及び履修方法							
共通基礎科目		1単位					
実践科目		4単位以上					
論文指導科目（特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）		5単位					
専門科目		4単位以上					
自由選択科目		2単位以上					
※計16単位以上（留学に係る単位を含む）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し合格すること。							

## 7. 授業時間割表

時限	時間
1時限	8:50~10:20
2時限	10:30~12:00
昼食時休憩	12:00~12:50
3時限	12:50~14:20
4時限	14:30~16:00
5時限	16:10~17:40
6時限	17:50~19:20

## 8. 授業内容および担当教員

※1「英語で開講可」欄：◎は英語による授業を前提としている。○は受講者からの要望があれば、担当教員の裁量により開講する。

①～⑥はタームを表す。

### (1) 共通基礎科目

コード	授業科目	授業科目英語名	単位	履修年次	ターム	曜日 時限	担当教員	英語開講	ナンバリングコード
D025100101	人文公共学リサーチ方法 基礎論	Basic Research Methodology in Humanities and Public Affairs	1	1	①	水3	山田 賢 ほか		DY701

### (2) 実践科目

コード	授業科目	授業科目英語名	単位	履修年次	ターム	曜日 時限	担当教員	英語開講	ナンバリングコード
D026100101	プロジェクト研究 I	Research Project I	2	1・2・3	④-⑤	集中	山田 賢, 米村 千代, 後藤 弘子		DY711
D026100201	プロジェクト研究 II	Research Project II	2	1・2・3	④-⑤	集中	山田 賢, 米村 千代, 後藤 弘子		DY712
D026100501	国際インターンシップ A	International Internship A	2	1・2	③	集中	山田 賢, 岡部 嘉幸, 久保 勇, 大森 雅子 (兼担)		DY715
D026100502	国際インターンシップ A	International Internship A	2	1・2	⑥	集中	山田 賢, 岡部 嘉幸, 久保 勇, 大森 雅子 (兼担)		DY715
D026100601	国際インターンシップ B	International Internship B	2	1・2	③	集中	伊藤 恵子, 石戸 光		DY716
D026100602	国際インターンシップ B	International Internship B	2	1・2	⑥	集中	石戸 光		DY716
D026101201	海外フィールドワーク	International Fieldwork	2	1・2	③	集中	山田 賢		DY722
D026101202	海外フィールドワーク	International Fieldwork	2	1・2	⑥	集中	山田 賢		DY722
D026101301	国内フィールドワーク	Domestic Fieldwork	2	1・2	③	集中	山田 賢		DY723
D026101302	国内フィールドワーク	Domestic Fieldwork	2	1・2	⑥	集中	山田 賢		DY723
D026100801	国際研究実践論 A	Global Practical Research A	2	1・2・3	④	集中	山田 賢		DY718
D026100901	国際研究実践論 B	Global Practical Research B	2	1・2・3	④	集中	山田 賢, 米村 千代		DY719
D026101001	国際研究実践論 C	Global Practical Research C	2	1・2・3	④	集中	山田 賢		DY720
D026101101	人文公共学特別演習	Seminar on Humanities and Public Affairs	1	1・2・3	⑥	集中	小松 寛 (非常勤)		DY721
D026101401	留学代替特別演習	Global Study	2	1・2・3	①-⑥	集中	山田 賢		DY724

### (3) 論文指導科目

授業コード	授業科目	授業科目英語名	単位	履修年次	ターム	曜日 時限	担当教員	英語開講	ナンバリングコード
D028100101	特別研究 I	Special Study I	1	1	①-⑥	集中	指導教員チーム		DY901
D028100201	特別研究 II	Special Study II	2	1・2	①-⑥	集中	指導教員チーム		DY902
D028100301	特別研究 III	Special Study III	2	2	③⑥	集中	指導教員チーム		DY903

※1「英語で開講可」欄：◎は英語による授業を前提としている。○は受講者からの要望があれば、担当教員の裁量により開講する。

①～⑥はタームを表す。

(4) 専門科目 (人文科学コース)

コード	授業科目	授業科目英語名	単位	履修年次	ターム	曜日 時限	担当教員	英語 開講	ナンバ リング コード
D027100101	東洋哲学	Eastern Philosophy	2	1・2・3	①-②	月3	内山 直樹		DF801
D027100201	現代哲学	Contemporary Philosophy	2	1・2・3	①-②	木5	山田 圭一		DF802
D027103601	分析哲学	Analytic Philosophy	2	1・2・3	①-②	火3	秋葉 剛史		DF836
D027104601	倫理学	Ethics	2	1・2・3	①-②	木1	立花 幸司	○	DF846
D027100301	社会的行為論	Social Action	2	1・2・3	①-②	水4	西阪 仰		DF803
D027104001	経験社会学	Empirical Sociology	2	1・2・3	④-⑤	火5	吉岡 洋介		DF840
D027100401	家族変動論	Sociology of Family Change	2	1・2・3	①-②	月2	米村 千代		DF804
D027100501	福祉社会論	Welfare Society	2	1・2・3	①-②	金1	出口 泰靖		DF805
D027100601	地域変動論	Sociology of Regional Change	2	1・2・3	④-⑤	月3	清水 洋行		DF806
D027104701	越境の社会学	Sociology of Border Crossings	2	1・2・3	④-⑤	金2	福田 友子	○	DF847
D027100801	環境人類学	Environmental Anthropology	2	1・2・3	①-②	金1	小谷 真吾	○	DF808
D027100901	医療人類学	Medical Anthropology	2	1・2・3	①-②	木3	高橋 絵里香	○	DF809
D027104801	言語人類学	Linguistic Anthropology	2	1・2・3	①-②	木4	小林 聡子	○	DF848
D027101101	ヨーロッパ古典文献学	Classical and Medieval Philology	2	1・2・3	①-②	月1	和泉 ちえ		DF811
D027101201	東アジア比較社会論	Comparative Study on East Asian Societies	2	1・2・3	①-②	火2	見城 悌治		DF812
D027104301	東アジア歴史社会論	Historical Study on East Asian Societies	2	1・2・3	①-②	月4	山田 賢		DF843
D027104401	東南アジア歴史社会論	Historical Study on Southeast Asian Societies	2	1・2・3	①-②	月6	岩城 高広		DF844
D027101401	イスラーム歴史社会論	History of the Muslim Societies	2	1・2・3	④-⑤	月6 水6	栗田 禎子, 磯貝 真澄		DF814
D027104101	日本歴史社会論	History of Japanese Societies	2	1・2・3	④-⑤	月5	檜皮 瑞樹		DF841
D027101501	ヨーロッパ近現代社会論	Modern History of European Societies	2	1・2・3	①-②	木6	小澤 弘明		DF815
D027101601	ヨーロッパ近世社会論	Early Modern History of European Societies	2	1・2・3	①-②	火4	大峰 真理		DF816
D027101701	ジェンダー表象論	Gender History of Visual Representations	2	1・2・3	①-②	月5	池田 忍		DF817
D027101801	考古学	Archaeology	2	1・2・3	①-②	水5	山田 俊輔		DF818
D027102001	ユーラシア言語論	Eurasian Linguistics	2	1・2・3	①-②	月6	田口 善久		DF820
D027102101	ユーラシア文化論	Eurasian Cultures Study	2	1・2・3	④-⑤	水5	吉田 睦		DF821

コード	授業科目	授業科目英語名	単位	履修年次	ターム	曜日時限	担当教員	英語開講	ナンバリングコード
D027102201	ユーラシア民族論	Anthropological Study in Eurasia	2	1・2・3	①-②	月5	兒玉 香菜子		DF822
D027103701	日本芸能文化論	Japanese classical performing arts and culture	2	1・2・3	④-⑤	火4	田草川 みずき		DF837
D027103801	移民と教育の現代社会論	Educational Sociology of Migration	2	1・2・3	④-⑤	火3	周 飛帆		DF838
D027102401	日本文学資料論	Japanese Literature	2	1・2・3	①-②	月5	竹内 比呂也, 柴 佳世乃		DF824
D027102501	日本文学表現論	Japanese Literature and Culture	2	1・2・3	①-②	水6	大原 祐治		DF825
D027104501	日本文学享受論	Historical study on reading Japanese literature	2	1・2・3	④-⑤	水5	久保 勇		DF845
D027102601	日本語史	Japanese Historical Linguistics	2	1・2・3	①-②	水1	神戸 和昭		DF826
D027102701	日本語学	Japanese Linguistics	2	1・2・3	①-②	火5	岡部 嘉幸		DF827
D027102801	多文化相互行為論	Interaction in Multicultural settings	2	1・2・3	①-②	金2	村岡 英裕		DF828
D027102901	言語行動分析論	Analysis of Language Behavior	2	1・2・3	④-⑤	火3	高 民定		DF829
D027103901	理論言語学	Theoretical linguistics	2	1・2・3	①-②	火3	鎌田 浩二	○	DF839
D027104201	日本語教育論	Japanese Language Pedagogy	2	1・2・3	④-⑤	月4	吉野 文		DF842
D027103201	英語圏文化論	Culture in English-speaking World	2	1・2・3	①-②	火2	舘 美貴子, 篠崎 実	○	DF832
D027104901	比較文化論	Comparative Culture	2	1・2・3	①-②	水2	大森 雅子, 橋本 知子	○	DF849
D027103301	ヨーロッパ言語文化論	Language and Culture in Europe	2	1・2・3	①-②	R4 不開講	山口 元		DF833
D027103501	宗教文明論	Studies in Civilizations and Religions	2	1・2・3	①-②	水1	石井 正人		DF835

※1「英語で開講可」欄：◎は英語による授業を前提としている。○は受講者からの要望があれば、担当教員の裁量により開講する。

①～⑥はタームを表す。

(5) 専門科目 (公共学コース)

コード	授業科目	授業科目英語名	単位	履修年次	ターム	曜日 時限	担当教員	英語 開講	ナンバ リング コード
D027200101	政治思想史	History of Political Thought	2	1・2・3	④-⑤	木1	関谷 昇		DG801
D027201501	日本政治史	Japanese Political History	2	1・2・3	①-②	木5	佐藤 健太郎		DG815
D027200201	公共哲学	Public Philosophy	2	1・2・3	①-②	水2	小林 正弥		DG802
D027200301	公共文化論	Public Culture	2	1・2・3	①-②	月4	内村 博信		DG803
D027200401	国際経済論	International Economics	2	1・2・3	③	集中	石戸 光	○	DG804
D027200501	公共政治論	Public Politics	2	1・2・3	④-⑤	金4	水島 治郎	○	DG805
D027200601	公共政策論	Public Policy: Citizens and Governance	2	1・2・3	①-②	火4	小川 哲生	◎	DG806
D027200701	環境経済論	Environmental Economics	2	1・2・3	①-②	金2	倉阪 秀史		DG807
D027200801	国際政治論	International Politics	2	1・2・3	①-②	月6	石田 憲		DG808
D027201801	国際関係論	International Relations	2	1・2・3	①-②	月6	五十嵐 誠一		DG818
D027201901	グローバル関係論	Relational Studies on Global Crises	2	1・2・3	①-②	月6	酒井 啓子		DG819
D027200901	雇用政策論	Labor Market Policy	2	1・2・3	①-②	水5	大石 亜希子		DG809
D027202001	移民研究	Migration Studies	2	1・2・3	①-②	火4	小川 玲子	○	DG820
D027201001	メディアリテラシー論	Media Literacy	2	1・2・3	④-⑤	水2	藤川 大祐		DG810
D027201101	市民社会論	The theory of Citizenship Society	2	1・2・3	①-②	木2	戸田 善治		DG811
D027201301	司法福祉論	Forensic Psychology and Social Work	2	1・2・3	④-⑤	火4	羽間 京子		DG813
D027201401	国際協力論	International Cooperation	2	1・2・3	①-②	火3	吉田 雅巳	○	DG814
D027201601	社会思想史	History of social thought	2	1・2・3	①-②	金5	三宅 芳夫		DG816
D027201701	国際政策論	International Policy	2	1・2・3	①-②	火6	李 想	○	DG817

(6) 専門科目 (社会科学コース)

コード	授業科目	授業科目英語名	単位	履修年次	ターム	曜日 時限	担当教員	英語 開講	ナンバ リング コード
D027300101	ミクロ経済学	Microeconomics	2	1・2・3	④-⑤	木4	小野 理恵, 長根 (齋藤) 裕美	○	DH801
D027300201	マクロ経済学	Macroeconomics	2	1・2・3	①-②	火4	黒木 祥弘		DH802
D027300301	計量経済学	Econometrics	2	1・2・3	①-②	木1	大鋸 崇, 青山 耕治		DH803
D027300401	開発経済学	Development Economics	2	1・2・3	①-②	水1	橘 永久	◎	DH804
D027300501	近代日本社会経済史	Social and Economic History of Modern Japan	2	1・2・3	①-②	R4 不開講	荻山 正浩		DH805
D027300701	選択行動分析	Analysis of Choice Behavior	2	1・2・3	④-⑤	月6	金子 文洋	○	DH807
D027300901	紛争解決法展開演習	Expanded Seminar on Conflict Resolution	2	1・2・3	④-⑤	火4	後藤 弘子		DH809
D027301001	応用外国法演習	Advanced Foreign Legal Studies	2	1・2・3	①-②	木5	金原 恭子		DH810
D027301101	行政法	Administrative Law	2	1・2・3	④-⑤	火3	下井 康史		DH811
D027301201	労働法	Labor Law	2	1・2・3	①-②	火4	皆川 宏之		DH812
D027301301	公共政策と法	Public Policy and Law	2	1・2・3	①-②	木2	横田 明美		DH813
D027301501	法哲学	Philosophy of Law	2	1・2・3	①-②	木3	川瀬 貴之		DH815
D027301601	民法	Civil Law	2	1・2・3	①-②	火3	平野 秀文		DH816



## 9. 千葉大学大学院人文公共学府の課程博士学位に関する細則

(趣旨)

第1条 この細則は、千葉大学学位規程第24条及び千葉大学大学院人文公共学府規程(以下「学府規程」という。)第17条の規程に基づき、千葉大学大学院人文公共学府(以下「本学府」という。)において授与する課程博士の学位論文の審査及び最終試験等に関し、必要な事項を定める。

(学位論文等の提出)

第2条 本学府に在学する者が学位論文の審査を願い出るときは、次に掲げる書類等を学府長へ提出しなければならない。

- |                        |    |
|------------------------|----|
| 一 学位論文審査願(別紙様式1)       | 1部 |
| 二 履歴書(別紙様式2)           | 1部 |
| 三 出身学校(最終学校)の卒業(修了)証明書 | 1部 |
| 四 学位論文                 | 5部 |
| 五 論文内容の要旨(別紙様式3)       | 5部 |
| 六 研究業績目録(別紙様式4)        | 5部 |
| 七 研究業績論文               | 1部 |

2 学位論文の提出期限は、毎年10月1日及び2月末日とする。ただし、教授会が特に必要と認めるときは、提出期限を別に定めることができる。

(審査委員会)

第3条 学府規程第18条の規定に基づき学位論文提出者ごとに審査委員会を置く。

2 審査委員会は、論文審査及び最終試験を行うとともに、学位を授与するに当たり付記すべき専攻分野の名称の判定を行う。

3 審査委員会は、次の各号に定める本学府の教員各1名以上の審査委員をもって組織する。ただし、少なくとも1名は、研究指導教員の外から選任する。

- 一 研究指導教員
- 二 提出された学位論文の内容に関係の深い学術領域の教員
- 三 前号に定める以外の学術領域の教員

4 審査委員会に、主査1名を置き、審査委員の互選によって定める。主査とならない審査委員を副査とする。

5 審査委員の指名は、学位論文提出者の所属するコースから推薦のあった審査委員候補者について、教授会の議を経て行う。

6 審査委員会は、学位論文の審査に当たって必要があるときは、教授会の議を経て、千葉大学大学院の他の研究科(千葉大学大学院学則第2条第1項に規定する研究科をいう。)の教員又は他大学の大学院又若しくは研究所等の教員等の協力を得ることができる。

(最終試験)

第4条 審査委員会は、学位論文を中心とする口頭又は筆答による最終試験を行う。

(学位論文の審査及び最終試験の結果報告)

第5条 審査委員会は、学位論文の審査及び最終試験が終了したときは、学位論文審査結果報告書(別紙様式5)を学府長へ提出しなければならない。

(学位取得者の義務)

第6条 学位取得論文は、公表しなければならない。

(雑則)

第7条 この細則に定めるもののほか、博士課程の学位に関し、必要な事項は別に定める。

附 則

この細則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和2年4月1日から施行する。

(別紙様式1)

年 月 日

千葉大学大学院人文公共学府長 殿

千葉大学大学院人文公共学府博士後期課程

専攻

氏名

㊟

※自署する場合、押印の省略可

## 学位論文審査願

千葉大学学位規程第5条の規定により、下記の論文及び関係書類を添えて提出しますので、博士の学位の審査をお願いいたします。

### 記

履歴書	1部
出身学校(最終学校)の卒業(修了)証明書	1部
学位論文	5部
論文内容の要旨	5部
研究業績目録	5部
研究業績論文	1部

研究指導教員承認印

氏名

㊟

※自署する場合、押印の省略可

(別紙様式2)

## 履 歴 書

提出日 年 月 日

ふりがな		男 ・ 女	本籍 (国籍)	
氏 名				
生年月日	年 月 日 ( 歳)			都道府県 (国名)
現住所等	〒 電話 ( ) - e-mailアドレス( )			
連絡先	〒 電話 ( ) -			
年 月 日	事 項			
学 歴	年 月 日	高等学校卒業		
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
職 歴	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
賞 罰	年 月 日			
	年 月 日			

- (注) 1. 履歴事項は漏れなく記載すること。学歴は高等学校卒業から記載すること。  
2. 外国語を用いる場合及び記載欄が不足する場合は、A4判の用紙を使用すること。

(別紙様式3)

## 論 文 内 容 の 要 旨

氏 名 \_\_\_\_\_

論文題目 (外国語の場合は, 和訳を併記すること。)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

論文内容の要旨 (別葉に記載すること。)

- (注) 1. 論文内容の用紙は, A4判とする。
2. 和文の場合は, 4,000字から8,000字程度, 外国語の場合は2,000語から4,000語程度とする。
3. 「論文内容の要旨」は, 電子データを併せて提出してください。

(別紙様式三)

## 論文内容の要旨

氏名

論文題目 (外国語の場合は、和訳を併記すること。)

論文内容の要旨 (別葉に記載すること。)

(注) 一、論文内容の用紙は、A四判とする。

二、和文の場合は、四千字から八千字程度、外国語の場合は二千語から四千語程度とする。

三、「論文内容の要旨」は、電子データを併せて提出してください。

(別紙様式4)

## 研究業績目録

(氏名 )

学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行の年 又は 発表の年 月	発表雑誌又は 発表学会誌等	要旨(200字程度)
〈著書〉		年	(出版社)  頁～ 頁	
〈論文〉		年	『 』 巻 号 頁～ 頁	共著者名等
〈学会発表〉		年 月	第 回 学会 (開催場所 : )	
〈その他〉				

掲載頁は、何頁から何頁までという形で明記してください。

## 審査用学位論文（課程博士）製本要領

二 〇 × × 年 度	20××年度
論 文 題 目	論 文 題 目
氏 名	千葉大学大学院 人文公共学府 博士後期課程 氏 名

(注)

- 1 プリントアウトしたもの（A4判）を簡易製本して**5部**提出すること。
- 2 特別な必要がある場合は、右綴じまたは横長とすることもできる。

## 公開用学位論文（課程博士）製本要領

二 〇 × × 年 度	20××年度
論 文 題 目	論 文 題 目
氏 名	千葉大学大学院 人文公共学府 博士後期課程 氏 名

(注)

サイズ……A4判

表紙……黒又は濃紺のハードカバー

文字……金箔押し

※保存のための学位論文は、上の様式に従い、指定された日までに**1部**提出すること。



## 10. 書式集

ここでは、諸手続、申請等に必要書類を掲載しています。入学から修了までに必要な諸手続の流れと、それぞれにおいて必要とされる書類については、前掲「3. 学位の取得」から、「4. 修了までの年次別手順」を参照してください。

この後ろの頁に綴じられているのは、次の「書式1」から「書式9」です。

- 書式1 人文公共学府（博士後期課程）履修計画表（2022年度），（2023年度），（2024年度）
- 書式2 千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）年次研究計画書
- 書式3 千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）特別研究Ⅰ単位認定申請書
- 書式4 千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）学位論文構想
- 書式5 千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）特別研究Ⅱ単位認定申請書
- 書式6 千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）特別研究Ⅲ単位認定申請書
- 書式7 千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）学位論文計画書
- 書式8 千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）論文提出資格確認願
- 書式9 人文公共学府（博士後期課程）研究指導計画書（2022年度），（2023年度），（2024年度）

上記の様式は、人文公共学府ホームページからもダウンロードできます。

書式1

**(2022年度)**  
**人文公共学府（博士後期課程）履修計画表**

入学 年度	専攻	学生証番号	氏名		
	年度			年	月
現住所	電話 ( ) 携帯電話 ( ) - e-mailアドレス( ) 〒				

住所等が変更になった場合は、学生ポータルにおいて新しい住所・連絡先を登録してください。

研究題目					主任指導教員	
区分	科目	単位	ターム	曜日	時限	担当教員
選 目	実 践 科 目					
授 業 科 目	授 業 科 目					
必 修 科 目	人文公共学リサーチ方法基礎論		1			
	論文指導 科目	特別研究Ⅰ	書式3により申請すること			
		特別研究Ⅱ	書式4により申請すること			
		特別研究Ⅲ	全体研究会参加のための所定の手続きを行うこと			
合 計		単位				

※所要事項を記入の上、主任指導教員の確認を得てから当該年度の4月末日までに人社系学務課大学院学務室窓口へ提出すること。

※授業科目の履修登録は、履修登録システムによるWeb登録にて行うこと。

書式1

**(2023年度)**  
**人文公共学府（博士後期課程）履修計画表**

入学 年度	専攻	学生証番号	氏名
	年度		年 月 日生
現住所	電話 ( ) 携帯電話 ( ) - ( ) e-mailアドレス( ) 〒		

住所等が変更になった場合は、学生ポータルにおいて新しい住所・連絡先を登録してください。

研究題目					主任指導教員	
区分	科目	単位	ターム	曜日	時限	担当教員
選 目	実 践 科 目					
授 業 科 目	授 業 科 目					
必 修 科 目	人文公共学リサーチ方法基礎論		1			
	論文指導 科目	特別研究Ⅰ	書式3により申請すること			
		特別研究Ⅱ	書式4により申請すること			
		特別研究Ⅲ	全体研究会参加のための所定の手続きを行うこと			
合 計		単位				

※所要事項を記入の上、主任指導教員の確認を得てから当該年度の4月末日までに人社系学務課大学院学務室窓口へ提出すること。

※授業科目の履修登録は、履修登録システムによるWeb登録にて行うこと。

書式1

**(2024年度)**  
**人文公共学府（博士後期課程）履修計画表**

入学 年度	専攻	学生証番号	氏名		
	年度		年	月	日生
現住所	電話 ( ) 携帯電話 ( ) - ( ) e-mailアドレス( ) 〒				

住所等が変更になった場合は、学生ポータルにおいて新しい住所・連絡先を登録してください。

研究題目					主任指導教員	
区分	科目	単位	ターム	曜日	時限	担当教員
選 目	実 践 科 目					
授 業 科 目	授 業 科 目					
必 修 科 目	人文公共学リサーチ方法基礎論		1			
	論文指導 科目	特別研究Ⅰ	書式3により申請すること			
		特別研究Ⅱ	書式4により申請すること			
		特別研究Ⅲ	全体研究会参加のための所定の手続きを行うこと			
合 計		単位				

※所要事項を記入の上、主任指導教員の確認を得てから当該年度の4月末日までに人社系学務課大学院学務室窓口へ提出すること。

※授業科目の履修登録は、履修登録システムによるWeb登録にて行うこと。

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）  
年次研究計画書

研究テーマ： \_\_\_\_\_

指 導 教 員
_____ (印)
_____ (印)
_____ (印)

学生証番号
_____
氏 名
_____ (印)
※自署する場合、押印の省略可

年次研究計画書記載要領

- 1) 年次研究計画書には、この表紙を付し、別紙に以下の項目を記載して人社系学務課大学院学務室窓口に提出してください。なお、年次研究計画書は、「特別研究Ⅰ」にかかわる研究計画の申請をかねているため、具体的な研究方法について記述するように留意してください。
- 2) A4判，1行40字30行で，2枚程度の分量とすること。

研究計画書に記載すべき項目

- 1) 研究テーマの説明
- 2) 本研究の学問的意義
- 3) このテーマに関する従来の内外の研究の現状
- 4) これまでの自己の学習・研究テーマとの関連
- 5) 現時点で期待される研究成果の見込み
- 6) 研究スケジュールの概略
- 7) 研究計画全体の中において今年次の研究が占める位置
- 8) 1年次の具体的な研究遂行計画

※使用する予定の文献・データ・資料，訪問する予定の研究機関・資料館・文書館，調査を予定している対象，あるいはその他の作業計画などについて具体的に記述してください。

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）  
特別研究Ⅰ単位認定申請書

主任指導教員 殿

申請者

氏 名 ⑩※自署する場合、押印の省略可  
(学生証番号 )

別紙の通り、博士論文作成に向けた研究活動を行ってきましたので、ここに特別研究Ⅰ（1単位）の単位認定を申請いたします。

---

記載要領

- 1) この表紙を付し、主任指導教員に提出すること。主任指導教員は副指導教員2名とともに評価のうえ、「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ成績報告票」を人社系学務課大学院学務室窓口へ提出します。
- 2) 別紙において、博士論文作成に向けて行われた研究活動の概要を具体的に記述すること。例としては、国内・海外における資料収集、海外現地での研究者・学生との交流、学問分野によっては、実験・実習やフィールドワーク、あるいは博士論文作成とプロセスと有機的に結びつけられたその他の予備的作業や学会活動、社会的活動などが挙げられる。また、提携する大学院において授業科目を履修した場合、あるいは研究指導の一部を受けた場合には、その経緯や成果について記述することも望まれる。
- 3) A4判、1行40字30行で、2枚以内の分量とすること（この表紙を除く）。ただし、必要な場合には、それ以外に図版、表、グラフ、あるいはその他の関連資料を添付してもよい。

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）  
学位論文構想

研究テーマ： \_\_\_\_\_

指 導 教 員
_____ (印)
_____ (印)
_____ (印)

学生証番号
_____
氏 名
_____

学位論文構想記載要領

学位論文構想には、この表紙を付し、別紙に以下の項目を記載して指導教員の押印を得たうえ、学府長あて人社会学務課大学院学務室窓口にて提出して下さい。

- 1) 研究テーマの説明
- 2) 本研究の学問的意義
- 3) このテーマに関する従来の内外の研究の現状
- 4) 学位論文本文の概略
  - A) 章立て、節立て及びそれぞれの題目
  - B) それぞれの章・節で論じようと思っていること、目指していること。
  - C) B) について現時点で明らかになったこと、到達点。
- 5) 研究スケジュールの概略
- 6) 今年次の具体的な研究遂行計画

※使用する予定の文献・データ・資料，訪問する予定の研究機関・資料館・図書館，調査を予定している対象，あるいはその他の作業計画などについて具体的に記述してください。
- 7) 現時点で期待される研究成果の見込み

(注) A4判，1行40字30行で，2～3枚程度の分量とすること（この表紙を除く）。

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）  
特別研究Ⅱ単位認定申請書

主任指導教員 殿

申請者

氏 名 ㊟※自署する場合、押印の省略可  
(学生証番号 )

下記のとおり「学術論文」を学術雑誌等に発表いたしましたので、ここに特別研究Ⅱ（2単位）の単位認定を申請いたします。

記

1. 執筆者名（単著・共著別）※注1

.....

2. 論文題目

.....

3. 掲載雑誌名

.....

4. 発行者または編集者

.....

5. 掲載ページ

.....

6. 発行年月日※注2

.....年.....月.....日.....

7. 掲載についての審査の有無（該当する方に○をして下さい）※注3 .....有.....・.....無.....

（申請にあたっての注意）

- ① 「学術論文」1点につき申請書1通を作成し、主任指導教員に提出すること。主任指導教員は副指導教員2名とともに評価のうえ、「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ成績報告票」を人社系学務課大学院学務室窓口へ提出します。
- ② 「学術論文」は、掲載された学術雑誌等の該当部分（抜刷可）及び表紙のコピーを3部（A4判に統一）添付すること。

※注1 共著の場合は、共著者全員の氏名を記載し、論文における申請者の貢献の割合及び担当部分を明記する。

※注2 掲載雑誌が申請時点で未発行である場合は、その雑誌に掲載予定であることの証明書類を添付すること。

※注3 審査のある学術論文を提出する場合は、それを証明する規程等を添付すること。



千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）  
特別研究Ⅱ単位認定申請書

主任指導教員 殿

申請者

氏 名 ㊟※自署する場合、押印の省略可  
(学生証番号 )

下記のとおり「学術論文」を学術雑誌等に発表いたしましたので、ここに特別研究Ⅱ（2単位）の単位認定を申請いたします。

記

1. 執筆者名（単著・共著別）※注1

.....

2. 論文題目

.....

3. 掲載雑誌名

.....

4. 発行者または編集者

.....

5. 掲載ページ

.....

6. 発行年月日※注2

.....年.....月.....日.....

7. 掲載についての審査の有無（該当する方に○をして下さい）※注3 .....有.....・.....無.....

（申請にあたっての注意）

- ① 「学術論文」1点につき申請書1通を作成し、主任指導教員に提出すること。主任指導教員は副指導教員2名とともに評価のうえ、「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ成績報告票」を人社系学務課大学院学務室窓口へ提出します。
- ② 「学術論文」は、掲載された学術雑誌等の該当部分（抜刷可）及び表紙のコピーを3部（A4判に統一）添付すること。

※注1 共著の場合は、共著者全員の氏名を記載し、論文における申請者の貢献の割合及び担当部分を明記する。

※注2 掲載雑誌が申請時点で未発行である場合は、その雑誌に掲載予定であることの証明書類を添付すること。

※注3 審査のある学術論文を提出する場合は、それを証明する規程等を添付すること。

**千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）  
特別研究Ⅲ単位認定申請書**

主任指導教員 殿

申請者

氏 名 ㊟※自署する場合、押印の省略可  
(学生証番号 ))

下記のとおり「全体研究会」において2回研究報告を行いましたので、ここに特別研究Ⅲ（2単位）の単位認定を申請いたします。

記

全体研究会開催日 (□にチェックを入れること)	発表題目
年度 □前半期 □後半期 ( 年 月 日開催)	
年度 □前半期 □後半期 ( 年 月 日開催)	

---

(申請にあたっての注意)

全体研究会で研究報告を行った都度本申請書に記載を行い、2回目の研究報告が終了したら、主任指導教員に提出すること。主任指導教員は副指導教員2名とともに評価のうえ、「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ成績報告票」を人社系学務課大学院学務室窓口に提出します。

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）  
学位論文計画書

( 年度)

人文公共学府長 殿

学生証番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊞

※自署する場合、押印の省略可

わたしは既に提出した学位論文構想（及び研究経過報告）に基づき、 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月提出予定の学位論文に係る学位論文計画書を作成しましたので提出いたします。

記

論文題目： \_\_\_\_\_

指導教員承認 \_\_\_\_\_ ㊞

\_\_\_\_\_ ㊞

\_\_\_\_\_ ㊞

(記載要領)

- 1) 提出にあたって、はじめに（序論）、本論、おわりに（結論）などの章節、及びそれらの題目、すなわち学位論文の構成を明確にする目次を記すこと。
- 2) それぞれの部分（章、節など）について、その意図が読み手に十分に理解されるように、かつ簡潔に記すこと。
- 3) 学位論文構想と著しく構成や内容を異にする場合には、それに至った経緯を学問的に記すこと。
- 4) A4判、1行40字30行で、約20枚程度の分量とすること（この表紙を除く）。
- 5) ページ番号を付すこと

**千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）**  
**論文提出資格確認願**

人文公共学府長 殿

学生証番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

主任指導教員 \_\_\_\_\_ ㊟

※自署する場合、押印の省略可

下記のとおり学位論文を提出したいので、提出資格の確認をお願いします。

記

## 1. 学位論文の題目

---



---

## 2. 既に単位を修得した専門授業科目

科目区分	科目名	単位数	単位合計	修得時期
共通基礎科目	人文公共学リサーチ方法 基礎論	1単位	1単位	年度
実践科目		単位	単位	年度
		単位		年度
		単位		年度
専門科目		2単位	単位	年度
		2単位		年度
		2単位		年度
		2単位		年度
自由選択科目		単位	単位	年度
		単位		年度
論文指導科目	特別研究Ⅰ	1単位	1単位	年度
	特別研究Ⅱ	2単位	2単位	年度
	特別研究Ⅲ	2単位	2単位	年度

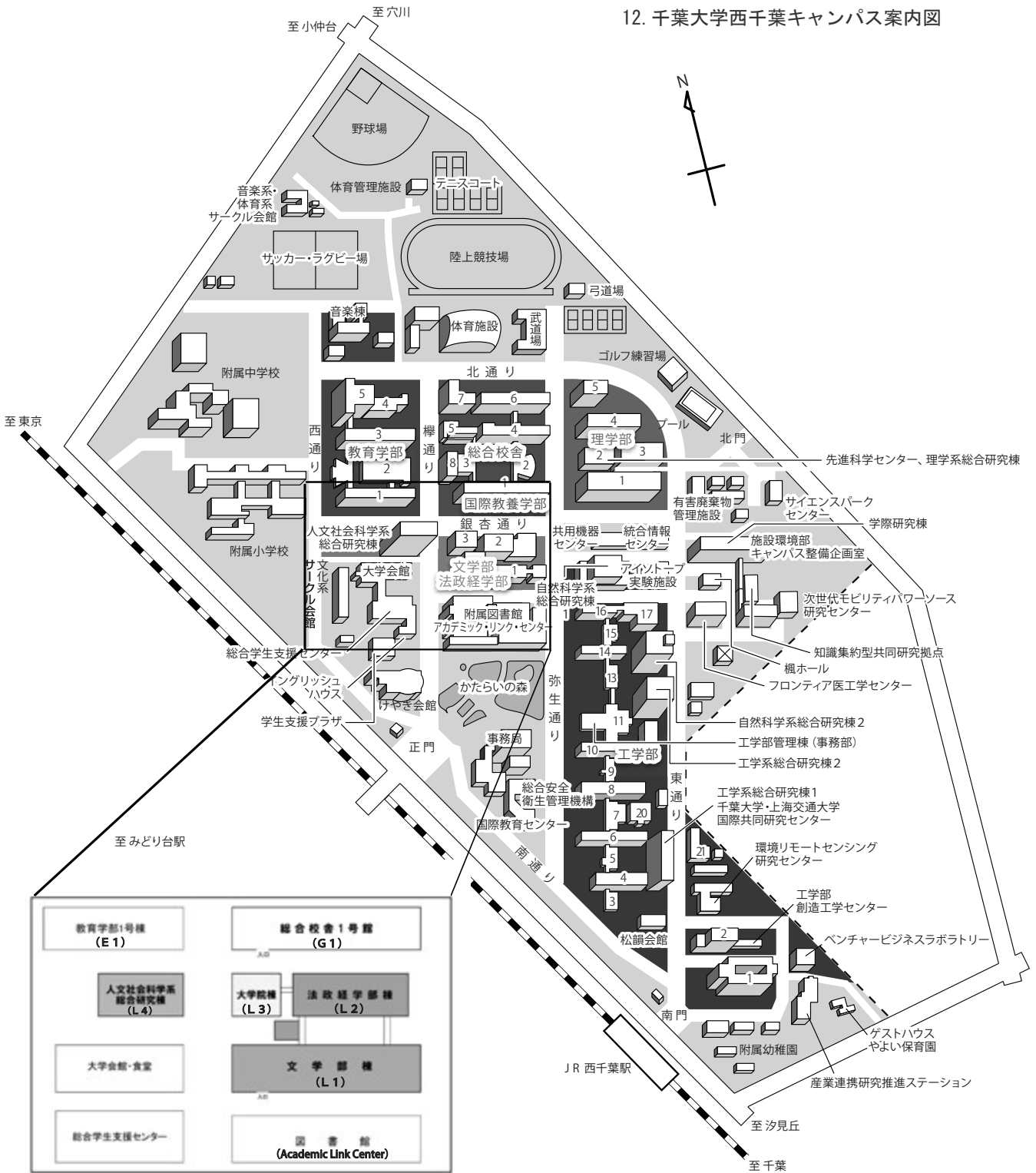
## 3. 学位論文計画書： 年 月提出







## 12. 千葉大学西千葉キャンパス案内図





# 人文公共学府 研究指導計画

## 1. 研究指導の方法

- ・ 研究計画に沿った調査研究、実験、実習等を実施することにより、先行研究の検討を踏まえた学生の研究方法の確立、研究内容の深化に係る指導を行う。
- ・ ゼミや報告会等において学生の研究の進捗状況を確認し、学生が研究方向の展開や変更等を主体的に行うことができるよう指導する。
- ・ 研究成果の学会発表、研究論文の作成等に係る指導を行い、学生が研究をまとめ、発表する能力を涵養する。
- ・ 学位論文等の作成に係る指導を行い、学生が研究を体系的にまとめ、公表する能力を涵養する。

## 2. スケジュール

### 1年次

4～5月 「研究指導計画書」の作成（研究計画の作成、指導教員との面談、指導教員の研究指導計画の確認）※以降、研究計画に変更が生じた場合は、随時、指導教員と面談を行う。

「年次研究計画書」の作成

5～3月 研究論文題目の設定、実験・観察・分析・調査等の研究、関連領域に関する調査研究、論文作成等に対する指導教員による指導・助言

### 2年次

4～5月 「研究指導計画書」の作成（研究計画の作成、指導教員との面談、指導教員の研究指導計画の確認）※研究計画に変更が生じた場合は、随時、指導教員と面談を行う。

「学位論文構想」の作成

9月 第1回全体研究会での発表

3月 第2回全体研究会での発表

### 3年次

4～5月 「研究指導計画書」の作成（研究計画の作成、指導教員との面談、指導教員の研究指導計画の確認）※研究計画に変更が生じた場合は、随時、指導教員と面談を行う。

「学位論文計画書」「論文提出資格確認願」の作成

10月 博士論文提出

10～11月 博士論文提出者及び博士論文審査委員候補者の決定

12～1月 博士論文審査・口頭試問等

3月 博士論文最終審査

学位授与